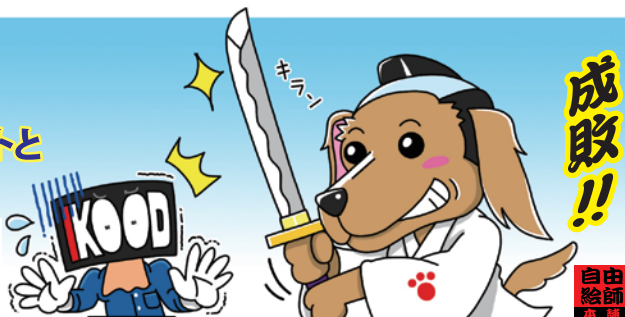


KOODとクードくん

八兵衛くん

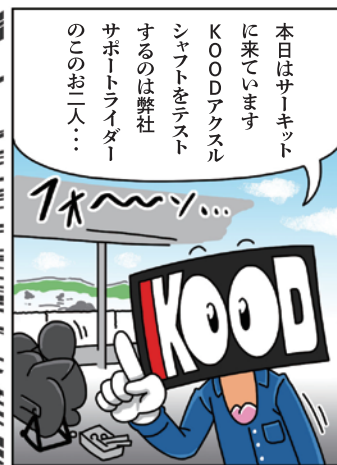
第2話 KOODとサーキットと 津田兄弟と

作: KOOD
画: 秋田 昌宏
自由絵師本舗



成敗!!

自由絵師本舗



■Rアックスル リアの接地感がとても上がった。程度の良いタイヤに入れ替えた様な感じ。1番これが変化量がある

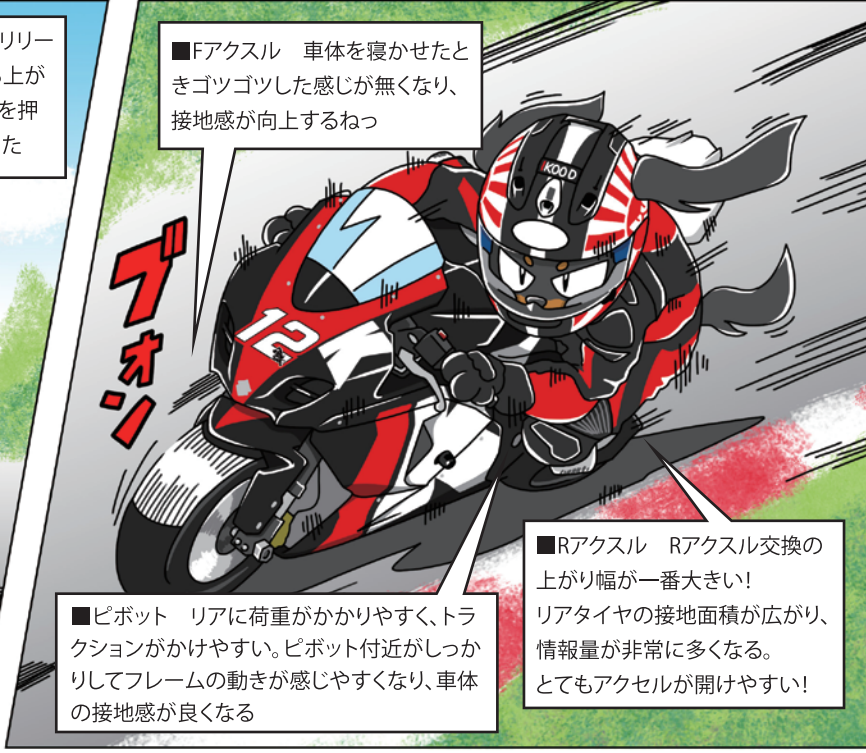
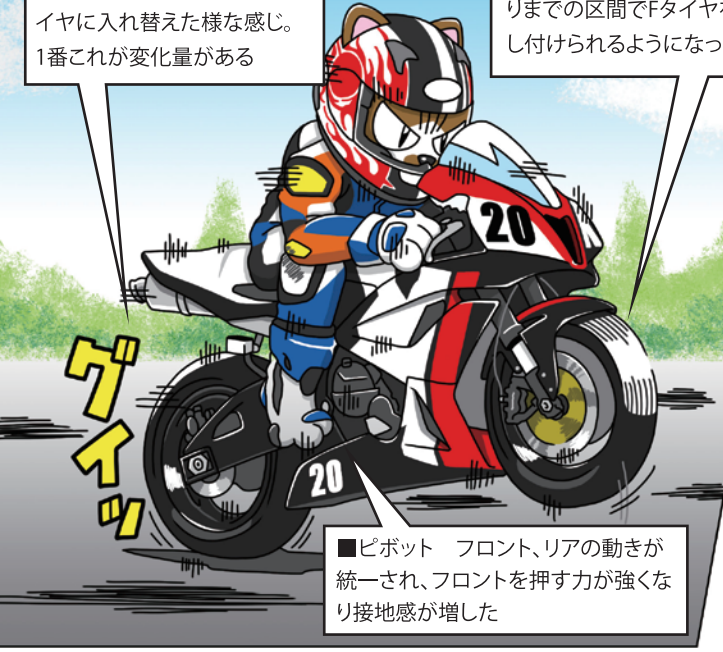
■Fアックスル プレーキリリース後エントリーから立ち上がりまでの区間でFタイヤを押し付けられるようになった

■Fアックスル 車体を寝かせたときゴツゴツした感じが無くなり、接地感が向上するねっ

■Rアックスル Rアックスル交換の上がり幅が一番大きい! リアタイヤの接地面積が広がり、情報量が非常に多くなる。とてもアクセルが開けやすい!

■ピボット リアに荷重がかかりやすく、トラクションがかけやすい。ピボット付近がしっかりしてフレームの動きが感じやすくなり、車体の接地感が良くなる

■ピボット フロント、リアの動きが統一され、フロントを押しやすくなり接地感が増した



兄弟揃って全日本ロードレース選手権・JSB1000クラスに参戦中。兄、拓也はススキのmotoGPマシンの開発も務めるワークスライダー。弟、一磨もアグレッシブな走りが定評のベテランライダーだ。

津田拓也 津田一磨

▼津田兄弟のfacebook・Twitterはこちらから▼

